

(公社)日本ホッケー協会中学校部会



第2回常任委員会議事録

期 日: 令和5年2月25日(土) 13時00分～17時00分

令和5年2月26日(日) 9時00～12時00分

会 場: YIC 京都工科自動車大学校 TEL075-371-4055

京都市下京区油小路通塩小路下ル西油小路町 27

参加者(敬称略)

中学校部会会長: 高橋千春(宮城県: 築館中学校校長)

中学校部会副会長: 戸井道彦(岡山県: 瀬戸中学校校長)

中学校部会事務局長: 久保克敏(京都府: 瑞穂中学校)

事務局: 徳光 寿(山口県: 末武中学校)

競技部: 鈴木良子(兵庫県: 丹南中学校)

審判部: 尾木典隆(奈良県: 桜井西中学校)

常任委員: 佐々木亮太(関東)、柳生香奈(北信越)、山本 誠(東海)、山田享平(近畿)

道端良之(中国)、岩尾幸美(九州)

専門委員: 武田涼(東北)

U-15 海外遠征事務局: 幸田伸也(奈良県: 郡山南中学校)、吉原荘二(宮城県: 東豊中学校)

令和4年度全中大会事務局: 矢部貴俊(岡山県岡山市立瀬戸中学校)

常任委員会

・ 構成員: 16 名

・ 出席者: 15 名

規約第 6 章第 19 条

に則り本会は成立

文責: 徳光 寿(事務局)

1 開 会

2 あいさつ

会に先立ち、高橋千春中学校部会会長（宮城県築館中学校長）にご挨拶をいただく。コロナ禍でできる限りの事業ができた。今年度の反省を生かし、来年度の事業がよりよくなるように協議していきたいことを確認した。

3 協議事項

(1) 第53回全日本ホッケー選手権大会・・・・・・・・・・・・・・ (大会実行委員会、事務局)

・ 「実施要項」「競技運営規程」「会場関係」その他の検討

○今後のコロナの状況次第で、開会式の持ち方を検討していくことを確認。

○競技開始時刻は例年の9時からにするか、9時半からにするかは宿泊業者と確認し、来年度5月第1回常任委員会で提案することを確認。

○全中大会では代表者会議とはせず、監督会議とし、必ず監督が出席することを確認。

・宿泊・弁当要項について

○保護者の宿泊については、斡旋しないことを確認。

○宿泊施設については、朝食・夕食有の宿泊施設を優先して確保することを旅行会社要望。

*全中大会および11人制大会の宿泊についての留意事項

- ・大会期間中については、必ず大会事務局を通して宿泊申し込みをする。
- ・弁当については、以前より希望制としている。
- ・全中大会では大会初日(開会式の前)に公式練習を設ける。

・各ブロック参加枠数の最終確認

内規事項に従い枠を決めた。

女子については東海と九州が比例配分の数値が同数だったため、抽選により決定した。

その結果、東海が1枠、九州が2枠となり、下記のようにブロック枠を決定した。

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	開催地	優勝枠	合計
男子	0	3	4	3	2	4	3	1	2	1 岡山	1 中国	24
女子	0	3	4	4	1	4	3	1	2	1 岡山	1 北信越	24

・全国大会のシード権(組み合わせ抽選)及び決勝トーナメントの組み合わせ抽選の確認

全国大会のシード権について <方法の確認(シードが9チームの場合)>

①前回の全中でベスト4に入った府県ブロックを先に分ける。

②その後、各ブロックのシード校をランダムに抽選する。但し、予選会を行わずに全中に参加をしている府県はシード扱いをしない。

よって、1つのブロックの中にシード校が2つ入る所ができる。

具体的には・・開催地枠と今年度のベスト4に入ったブロックは、同ブロックにシードチームが2つ入らないように抽選をする。

令和4年度男子ベスト4 優勝：横田(中国) 準優勝：朝日(北信越)
3位：織田(北信越)、川口・一方井(東北)

R5 開催地枠 岡山(中国：岡山県)

令和4年度女子ベスト4 優勝：石動(北信越) 準優勝：今市・落合(関東)
3位：東原(関東)、伊吹山(近畿)

R5 開催地枠 岡山(中国：岡山県)



上記結果により、令和5年度の男子については、開催地枠(中国：岡山県)と中国ブロック、北信越ブロック、東北ブロックの1位と開催枠ブロックの4チームについては、先に抽選を行い、この4チームについては同一ブロック内に入らないようにする。その後、他ブロックの1位を抽選する。女子も同様に行う。

・決勝トーナメントの組み合わせ抽選

決勝トーナメントの組合せについては、今年度も全ての予選リーグの試合が終了した時点で抽選を行う。
※R元年度より導入した「代理抽選依頼」は継続。

・合同チームの編成に関して

現状通りの規定で運用していくことを確認。

<合同チーム申請の流れ>

4月に中学校部会 HP に「合同チーム申請書」をアップする。



・合同チーム申請方法について

- ①合同チームの申請をするチームは第1回常任委員会の10日前までに各ブロック常任委員に申請をする。(申請書のpdfでの提出締切)
 - ②第1回常任委員会の1週間前までに各ブロックの常任委員はブロックの状況をまとめ、事務局に申請書のpdfをメールで送り報告する。
 - ③合同チームの申請書原本は各ブロックの常任委員が常任委員会に持参する。
(※各チームは常任委員会(5月第4週目土曜日)までに常任委員に原本を送付すること。)
- 公印の押された者を提出する。押されていないものは認めない。



第1回目の常任委員会で確認・承認

(2) 日本ホッケー協会中学校部会の組織運営について・・・・・・(事務局)

・中学校部会組織の見直し

規約の改正(資料1)

- これからの状況を踏まえて徐々に変更していくことを確認し、提案が承認される。
- クラブチーム参入にあたり、組織の名称変更を検討し、今後JHAの承認を得る。

・全中大会(内規)の改正(資料1-2)

以下のことを確認した。

- 指導者資格については、クラブチームはコーチ3以上であること。
- クラブチームでの出場を希望する際には申請書類を提出し、第1回常任委員会で確認および承認すること。
- クラブチームのセカンドチームは認めない。
- 県を跨いで登録は認めない。居住地の記載を入れる。
- 第1回常任委員会までに日本ホッケー協会にチーム登録および選手登録していること。
- 出場の意思があるクラブチームはまずは事務局に連絡をする。
- 令和5年3月中に内規事項や全中大会参加の登録についての文書、申請書類等をホームページにアップするとともに、都道府県ホッケー協会にメールし周知すること。

・登録について(部活動・クラブチーム・個人)

- チーム登録をしている生徒は個人的に日本ホッケー協会に支払うことはないが、個人登録をする生徒については1000円を日本ホッケー協会に支払うことになるため、個人登録をした生徒に関しては中学校部会の登録料は免除することを確認。

- (3) 第23回全日本都道府県対抗11人制大会について・・・・・・（事務局）
3年ぶりの大会実施となり、大変盛り上がった。また、中学校部会の中に11人制大会実行委員会を設置し、若手の先生方を中心に取り組んだ。

次年度以降の11人制大会について

○次年度以降について

福井県にさらに2年継続（R4年 R5年）をお願いし、承諾をいただいている。

しかし、今後の（令和6年度からの）11人制大会については開催地を含めて早急な検討が必要になっている。

○各指導者にアンケートの協力をお願いし、3月中に現状把握を確認。

○現状把握した結果をもとに令和6年度以降の11人制大会について検討していく。

- (4) U-15 オールスター戦について－報告－

・報告（女子監督、海外遠征事務局より）

○選考会を男子は宮城県、女子は愛媛県で行い、全国各地でできたことは良かった。

○ただし、スタッフの負担が大きいため、できれば男女同じ日程で行った方が良い。

○U15の日本代表として試合の経験をさせることができて良かった。

・R4 U15 オールスター戦に参加したすべての生徒にU18選考会に参加する権利を与え、男女とも10名程度の生徒が参加した。

○U18カテゴリーとの連携を密にとり、今後の参加条件について検討していくことを確認。

- (5) 令和4年度「事業報告」及び「決算（中間まとめ）」・・・・（事務局、会計）資料3、4

令和4年度「事業報告」（資料3）、令和4年度「決算報告」～中間まとめ～（資料4）を報告し、承認される。また、U15積立金として120万円を別会計とし、今後の海外遠征で使用していくことを確認。

- (6) 令和5年度中学校部会役員（案）・・・・・・（事務局）資料5

来年度から四国ブロックに常任委員と専門委員をお願いすることを確認し、資料5の役員案で承認される。

・会長・・・次年度全中大会開催地（岡山県）の校長先生をお願いする。

・副会長・・・令和6年度全中大会開催地（富山県）の校長先生をお願いする。

・常任委員、専門委員の交代について確認・・・基本は各ブロックに任せている。

次年度ブロック常任委員、専門委員を変更する場合は、旧常任委員で責任をもって5月の常任委員会までに事務局（徳光）に連絡をする。

- (7) 令和5年度「事業計画（案）」及び「運営費予算（案）」・・・・（事務局 会計）資料6、7

令和5年度「事業計画（案）」（資料6）、令和5年度「運営費予算（案）」（資料7）について報告し、承認される。

(8) ジュニアユース U15 日本代表チームについて・・・・・・ (遠征事務局・事務局)

○選考会について、遠征の概要について現時点でわかっていること

1) 次年度の選考会開催場所(案)は

日 程 2023年9月16日(土) 17日(日) 18日(月)

※例年9月の3連休で行っている

場 所 宮城県栗原市築館多目的競技場

宮城県栗原市一迫多目的広場

宿泊場所 宮城県 国立花山青少年自然の家

男女一緒に行く

2) 海外遠征が可能かどうか?

○基本は海外遠征をする方向で考えるが、最終判断は日本ホッケー協会の判断。

○スタッフ確保について早めに動いていくことを確認。

(9) 競技部・審判部より・・・・・・ (競技部:鈴木、審判部:尾木)

=競技部より=

- ・令和4年度から中学部会においても手当者の登録も必要であることを再確認。
- ・令和4年度に限り、チームスタッフが複数のチームに登録をする場合も1チームのみの登録料で可能であったが、令和5年度からはそれぞれ登録料がかかることを確認。

=審判部より=

- ・R5. 4. 1から試験的なルール変更あり。ホームページでルールの確認をお願いしたい。
具体的には、SO戦の開始位置と時間。PC時の守備側の位置変更。
- ・選手交代時にはビブスを受け渡すことでの交代をお願いしたい。
- ・IDフォルダーは各自準備をお願いしたい。
- ・6人制のクォーター制導入については前向きに検討していきたい。→TD、UMと確認する。
上記について報告があり、各常任委員から各チームに周知することを確認。

(10) その他

- ・R5年度以降の全中大会開催地について

R5: 中体連: 四国ブロック→中国ブロック (岡山県岡山市瀬戸で決定)

R6: 北信越ブロック (富山県小矢部市で内定)

R7: 九州ブロック、R8: 中国ブロック、R9: 近畿ブロック

R10: 関東ブロック、R11: 東海ブロック

※令和5年度中にR7年度の全中開催地の内定を目指す。

各常任委員は、ブロックに周知いただき早めの準備をお願いしたい。

最後に、日本ホッケー協会中学部会副会長戸井道彦(岡山県瀬戸中学校長)様から閉会のごあいさつをいただいて会を閉じた。

<連絡事項>

- ・次年度第1回目の常任委員会の日程確認 令和5年5月21日(日) 場所: 京都